

映画「いのちの山河」製作・上映運動を成功させる岩手の会主催

『いのちを守った村』の深澤晟雄村長と沢内村に学び

東日本大震災の被災者や私たちの暮らしを守るために・・・

今こそいのちを守る行政を！ 社会保障制度を考えるシンポジウム

2011年7月16日（土）

13:00～16:00

参加費無料

会場 盛岡市勤労福祉会館 5階大ホール

（盛岡市紺屋町 東北電力向かい。駐車場はないため有料Pをご利用下さい。）

それぞれの立場、実態を知る各層から主張
「社会保障の後退が、被災地に何をもたらしているのか。いのちを守る社会・行政のありようを私はこう考えます」

●コーディネーター

佐藤嘉夫さん（岩手県立大教授/
岩手地域総合研究所理事長）

●パネラー

- ・井上博夫さん（岩手大学教授/
岩手地域総合研究所副理事長）
- ・村上和雄さん（岩手県社会保障推進協議会事務局長）
- ・東日本大震災で被災された方（依頼中）
- ・小野寺けい子さん（盛岡医療生協理事長・小児科医）

会場から質問や意見交流

映画鑑賞者の多くが「今の政治家や首長たちに見せたい。沢内村の住民たちに学びたい」と感想を寄せました。いのちを守る行政にしていくため、私たちは何から始めたらいいか一緒に考え行動しましょう。

いのちの山河
日本の青空Ⅱ

大澤 豊 監督作品



※16日は映画の上映はありません。

憲法 25 条には「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国はすべての生活部分について、社会福祉、社会保障および公衆衛生の向上および増進に努めなければならない」とあり、生存権と国の社会的な使命を記しています。しかし、現実は大震災での被災者は 3 ヶ月たった今でも苦痛と我慢の中にいます。被災地以外でも、社会保障がどんどん後退し十分な医療や福祉が受けられない問題が広がっています。今、何が起きているか、このままだとくらしやいのちはどうなってしまうのか、考え、行動するきっかけにするためのシンポジウムです。

お問い合わせは 劇映画「いのちの山河～日本の青空Ⅱ～」製作・上映運動を成功させる岩手の会事務局
岩手県生協連 TEL019-684-2225・FAX019-684-2227